

ロスナイ

インフォメーション

2007年4月号

納入事例
特集号

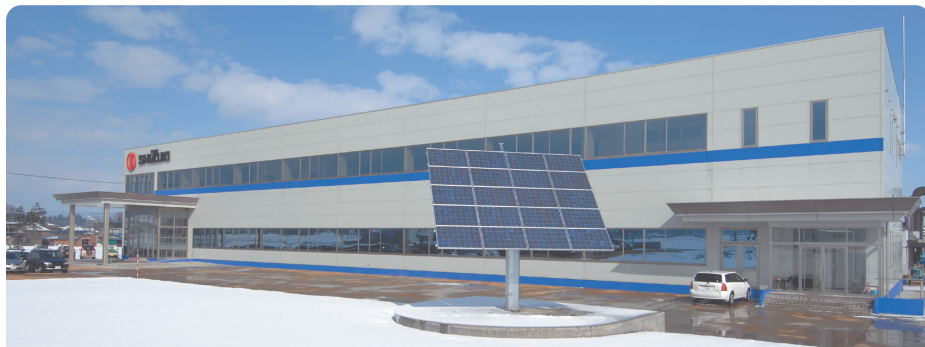
vol. 17

店舗用・天吊埋込形ロスナイの 採用事例を紹介



寒冷地での効率的な換気が可能です。

「LOSSNAY-INFORMATION」編集事務局



ご採用先

秋田指月株式会社 様

住 所: 秋田県雄勝郡羽後町

建物延床面積: 3,024m²

建物の種別: 鉄筋コンクリート

秋田指月株式会社殿は羽後町の企業誘致第一号企業であり、コンデンサメーカー・株式会社指月電機製作所の秋田県における生産並びに研究・開発拠点です。地域とのつながりを大切に、地域と共に発展していく企業です。

ご採用機種

業務用ロスナイ天吊埋込形: LGH-80RS4×4台
店舗用ロスナイ: SKU-65AC×14台



LGH-80RS4



SKU-65AC



VL-200ZSD2

寒冷地の換気はロスナイにおまかせ!!

施主様に伺いました!

十分な換気能力で 臭気対策が できました!

秋田指月株式会社

取締役 工場長 小田 敦 様



当社は指月電機製作所のグループ企業で、フィルムコンデンサの生産から販売までをしています。

新築の際、研究開発部門と生産部門を同じ場所に集約しました。

コンデンサ生産時に樹脂を使用するので、**独特の臭い**が発生しますが、場所が秋田県ということで冬場は非常に寒く窓を開けて換気することができません。したがって、**十分に換気できる**換気扇を必要としていました。



施主様に伺いました!

寒い地域に ピッタリです!

秋田指月株式会社

開発部 部長 藤原 祐紀 様



冬になると会社の辺り一面に雪が積もり、気温もぐっと冷え込む場所ですので、研究開発棟新築の際は、設備設計会社に室内の排気熱をムダにせず、尚且つ換気能力に優れているものをお願いしました。設備設計会社に提案いただいたのはロスナイでしたが、ロスナイについては以前からよく知っていましたので、提案をすぐに受け入れることができました。

室内の排気熱を有効に使い、直接外気を入れないロスナイは寒い地域にぴったりの換気扇だと思います。

注意: 寒冷地にご採用の場合は、製品本体が結露する可能性がありますので、断熱の追加工事等ご配慮ください。

寒冷地で実力がわかる!

ロスナイの 3つのメリット

問題点:

寒冷地での換気は、外気が入るたびに寒さを感じ非常に不快。また、空調機を運転していてもなかなか暖まらず、電気代ロスにもなります。しかし、換気扇を止めてしまうと汚れた空気や臭気が室内にこもり、また、窓に結露が発生し、建物を傷める原因となってしまいます。

なんとか
ならないの?



メリット 1

熱回収して省エネ換気

換気の際に、室内で温めた(冷やした)空気の熱をムダにすることなく、再び室内に戻して有効に利用します。そのため、選定する空調機も小さくて済みます。また、それにより消費電力も低減でき、ピークカットにも貢献します。

メリット 2

結露を防ぐ

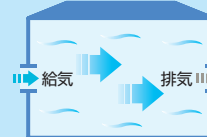
汚れた空気や臭気を排出し、適度な湿度交換を行うことで、結露を防ぎ、乾燥しすぎも防ぎます。



メリット 3

高効率換気

1台で給排気ができるので、効率よく換気を行うことができます。



これを
解決するのが
ロスナイです!!

設備設計者様に 伺いました!

羽後設備株式会社
設計積算部 課長 田中 隆 様



私の場合、ロスナイについては以前から知っており、寒冷地の換気方式はほとんどの場合ロスナイを有効利用しています。今回秋田指月さんから依頼いただいた際も、「排気をしっかりしたい」「室内の排気熱は有効活用したい」というご要望がありましたが、検討した結果、やはりロスナイが最適でした。ロスナイはバリエーションが豊富なので、機種選定の際も特に不便は感じませんでした。制御も充実しており問題はありません。寒冷地の換気扇として、寒冷地地域の方に
おすすめです。



事務所には店舗用ロスナイを設置。ダクト配管が少ないため施工が楽に行えます。天井裏もすっきり。



コントロールスイッチは1か所にまとめて設置。

ロスナイコントロールスイッチ



比較的狭い会議室等には住宅用ロスナイを採用。



会議室の様子。

秋田県
おがち
雄勝郡

羽後町って どんなところ?

地域とのつながりを大切にしている秋田指月株式会社様の地元、羽後町はどんなところなのでしょうか?



場所は?

秋田県の南部に位置し、年間の平均気温は10℃前後。県内でも有数の豪雪地帯です。

特産品は?

羽後町の米は、有機栽培と低農薬で品質管理も厳しく、市場でも好評なおいしいお米です。羽後牛は、町をあげて自然環境に取り組んでいる羽後町で育った健康な牛です。清潔な水や飼料を食べている羽後牛は立派な黒毛和牛となり、各地でおいしく食われています。



羽後伝統的文化 に触れる

毎年8月16～18日に開催される「西馬音内盆踊り」は、約700年の伝統をもつ伝統行事です。昭和56年には国の重要無形民俗文化財に指定されました。また、「ゆきとびあ七曲」は毎年1月の最終土曜日に開催され、その年に結婚予定のカップルが、昔の嫁入りを再現した馬そりにゆられながら峠を越えるイベントです。花嫁道中は約7000本のローソクが燈され、とても幻想的な光景の行事です。

